選手・監督注意事項

（1）本大会は平成３０年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則により行う。

（2）練習について

補助競技場を利用すること。ただし、円盤投の補助競技場内の練習は禁止する。

（3）招集について

ア　選手招集所は第４ゲート付近のスタンド下室内走路に設け、招集時刻を次の通りとする。

　　　・トラック……第一次招集完了時刻は競技開始３０分前、第二次招集完了時刻（競技場所）は１５分前に完了する。

　　　・フィールド…第一次招集完了時刻は競技開始５０分前、第二次招集完了時刻（競技場所）は４０分前に完了する。

　　イ　招集の方法

 　　・棄権する場合は第一次招集完了時刻までに招集所に申し出て、自分の名前に取り消し線を引くこと。

届け出がない場合は出場する意志があるものとして扱う。

・第二次招集は、すべての選手について各競技の開始場所で実施する。

（4）ナンバーカードについて

受付時に配布される各地区指定のものを、そのままの形でユニホームの胸部と背部に着用すること。ただし、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部のいずれか一方でよい。

　　　トラック競技に出場する選手は、受付時に配布される腰ナンバーカードを右腰に着用すること。ただし、長距離種目(800m,1500m,3000m)においては第二次招集時に役員から配布される腰ナンバーカードを着用すること。

（5）トラック競技について

・トラック競技は予選・決勝を行う。ただし、４００ｍ、８００ｍ、１５００ｍ、３０００ｍはタイムレース決勝とする。

　・リレー競技のオーダーは、プログラム添付のオーダー用紙に記入し、予選は競技開始時刻１時間前、決勝は３０分前までに招集所に提出すること。提出が遅れたチームは出場できない。（予選とメンバーの変更がない場合でも必ず提出すること。）

　・リレー競技で使用したテープ等は、競技後直ちに各自取り除き持ち帰ること。

（6）跳躍競技のバーの上げ方を次の通りとする。（コンディションにより変更する場合がある。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 走高跳 | 種　別 | 練　習 | 競　　　　　技 |
| 共　男 | １ｍ５０ | １ｍ５５　１ｍ６０　１ｍ６５　１ｍ７０　以後３cm毎 |
| ２　男 | １ｍ４０ | １ｍ４５　１ｍ５０　１ｍ５５　１ｍ６０　以後３cm毎 |
| １　男 | １ｍ２５ | １ｍ３０　１ｍ３５　１ｍ４０　１ｍ４５　以後３cm毎 |
| 共　女 | １ｍ３０ | １ｍ３５　１ｍ４０　１ｍ４５　１ｍ５０　以後３cm毎 |
| ２　女 | １ｍ２５ | １ｍ３０　１ｍ３５　１ｍ４０　１ｍ４５　以後３cm毎 |
| １　女 | １ｍ１５ | １ｍ２０　１ｍ２５　１ｍ３０　１ｍ３５　以後３cm毎 |
| 棒 高 跳 | １ｍ９０ | ２ｍ５０～３ｍ００まで１０cm毎、以降役員が指示 |

（7）競技について

・１年男子100mHは、ハードルの高さ83.8cmでインターバルは13.00m-8.50m-10.50mで行う。

・２年男子・共通男子110mHは、ハードルの高さ91.4cmでインターバルは13.72m-9.14m-14.02mで行う。

・女子100mHは、ハードルの高さ76.2cmで インターバルは13.00m-8.00m-15.00mで行う。

・１年男子砲丸投の砲丸の重さは4.00kgとする。

・２年男子・共通男子砲丸投の砲丸の重さは5.00kgとする。

・女子砲丸投の砲丸の重さは2.721kgとする。

・本競技場は全天候舗装につきスパイクの針の長さは9mm以下とする。

（8）表彰について

・表彰は各種別の各種目３位まで行う。競技終了後に係員の指示に従い、表彰者控室（玄関ロビー）に集合すること。

・団体表彰は男女別総合として各３位までとし、閉会式において実施する。